

アラバマ物語 (To Kill a Mockingbird)

観賞日 2022年3月28日

【概要】

制作 1962年 アメリカ 上映時間 129分

監督 ロバート・マリガン

原作 ハーパー・リー

脚本 ホートン・フート

音楽 エルマー・バーンスタイン

撮影 ラッセル・ハーラン

出演 グレゴリー・ペック (アティカス・フィンチ)、メアリー・バダム (スカウト)

フィリップ・アルフォード (ジェム)、ジェームズ・アンダーソン (ボブ・ユーウェル)

ブロック・ピーターズ (トム・ロビンソン)



【あらすじ】

1932年夏、アメリカ南部アラバマ州の田舎町メイカム。4年前に母を亡くした6歳の少女スカウトは弁護士の父アティカスと10歳の兄ジェムと3人で暮らしていた。遊び相手は兄と夏に隣に来る7歳のディル。近所にブーというあだ名の不気味な青年がいた。ある日、父は町の判事からトム・ロビンソン事件（黒人青年のトムによる白人の娘メイエラ・ユーウェルの傷害事件）の弁護を依頼され引受ける。当時のアラバマは大恐慌直後で人心が荒廃しており、特に人種差別が激しい時代であった。漸く行われた裁判で事件の真相が明らかにされたものの、陪審員が全員白人という不利な状況で父の奮闘むなしく有罪判決がくだる。その後ハロウィンの夜、兄妹は森の中を歩いて家に帰る途中ユーウェルに襲われる。その時、意外な人物が現れ二人を救い、格闘の末ユーウェルを刺し殺す。その意外な人物とは？その時保安官が下した大岡裁きは？

原作者が思い出深い幼年時代を回想するピューリツァー賞受賞小説の映画化。ハートウォーミングストーリーの傑作。

【解説】

■ポイント

●原題 (To Kill a Mockingbird) の意味

「何も害を与えないものを殺すこと」をするな

転じて、「無実の者に罪を着せるな」「偏見に惑わされるな」ということ。

本作では、トム(黒人)とブー(障害者?)に対する人々の対応を戒めている。

■見どころ

●スーパーヒーロー：アティカス・フィンチ

グレゴリー・ペックが演じたフィンチ弁護士はアメリカ人が好むヒーローの第1位

AFI (アメリカ映画協会) のアメリカン・ヒーロー (2003年版)

なお、ペックは本作で念願のアカデミー賞主演男優賞を受賞

■ディル (フィンチ兄妹の友達) のモデル

作家のトルーマン・カポーティ。(「ティファニーで朝食を」「冷血」などの作者)